

☆READ 2024☆第1弾



先生方によるおススメ本の紹介

「メモの魔力」

学校長・鈴木隆英

前田裕二/著・(株)幻冬舎/発行

前田裕二さんのメモ術をまとめた本です。この本を読めば、深い自己分析をしたり、夢を強い想いにして実現したりできます(たぶん)。メモにそんな効果があるの?と思われた方のために、終章の言葉を引用します。『僕にとって、メモとは生き方そのものです。メモによって世界を知り、アイデアが生まれる。メモによって自分を知り、人生のコンパスを持つ。メモによって夢を持ち、熱が生まれる。その熱は確実に自らを動かし、人を動かし、そして人生を、世界を大きく動かします。』



「木」

高校教頭・国語 早川公敏

幸田文/著・(株)新潮社/発行

幸田文特有の、磨き抜かれた骨太の日本語で書かれた『木』はどれも秀文ぞろいですが、とりわけ『藤』という文中で、父・露伴にキレられる場面は白眉です。博覧強記の仁が論理的にキレると、かくも小気味よいものかと感動すら覚えます。もはや「論破」不能?!



「事務に踊る人々」

事務長・田村麻由子

阿部公彦/著・(株)講談社/発行

「事務」に着目し漱石や西村賢太、三島由紀夫や『こちらあみ子』などを語る。『バトルビー』の章、「事務が暴力的なまでに絶対だからこそ、そこには漏れとしての善意の人が必要」で、この漏れの処理を担えるのが事務能力のある人なのだろうの文言、心に刻みたい。



「伊達政宗」

高校教務部長・数学 山本俊介

山岡荘八/著・(株)講談社/発行

伊達政宗の小説です。この中で、正宗が教育係の虎哉宗乙から「痛ければ痛くないと言え、悲しければ笑え、暑ければ寒いと言え」と教えられます。しかし、これは単にひねくれろという意味ではありません。どういうことかは読んでみて下さい。



「人生を豊かにする『天職』のすすめ」

進路指導部長 兼 数学アドバイザー・数学 鶴殿浩

本多信一/著・(株)ベストブック/発行

高校生にとって大学選びは身近なことですが、仕事選びについてはまだ考えたこともない人も多いでしょう。この本はしっかりと分析の裏付けのもと、自分にピッタリな職業を探すコツをわかりやすく紹介しています。ぜひ将来の自分にとっての天職を考えてみて下さい。



「海に帰る日」

図書部長 兼 高2学年サポーター・国語 大川健次

ジョン・バンヴィル/著・(株)新潮社/発行

遠い夏の記憶を思い出すことはありませんか? 子ども時代の夏の海。話は、妻の死が老いた主人公にそれを思い出すきっかけを与え、彼は子ども時代に経験した夏の海を訪れるというものです。起伏に富んだ内容ではないのですが、何かしみじみとした読後感がありました。



「東京の生活史」

高校3学年主任・英語 松本康伸

岸政彦/編者・(株)筑摩書房/発行

東京に暮らす人々を扱ったインタビュー集。息遣いさえ感じられる市井の人、人、人。受験勉強に疲れた合間に、街の人々の物語に耳を傾けてみるのもいい。他、青崎有吾著『地雷グリコ』、読書猿著『独学大全』、ライムスター『K.U.F.U』もおすすめ。



「クマにあったらどうするか」

高校3学年サポーター 兼 理科アドバイザー・理科 吉永裕史

姉崎等・片山龍峯/著・(株)筑摩書房/発行

昨今、クマとの遭遇ニュースが非常に増えています。全国で唯一クマが出ないはずの千葉県ですが、クマに会う前には是非どうぞ。

以下書籍帯より引用。

Q.あなたがクマにあったらどうしますか?

A.①死んだふり②木に登る③リュックを置いて逃げる④腰を抜かす



「白い雨」

高校3学年サポーター・芸術 麻生隆悟

赤川次郎/著・(株)光文社/発行

皆さんは赤川次郎をご存じだろうか? ドラマ仕立ての文章はとても読みやすくサクサク読めます。内容は、突然降ってきた謎の白い雨に打たれた人々が事件を起こしていくホラー小説です。赤川次郎を読んだことのある人にも、ない人にもおススメの一冊です。



「先生、どうか皆の前でほめないで下さい」

事務職員・岡田茜

金間大介/著・東洋経済新報社/発行

タイトルの言葉、先生や生徒の皆さんは心あたりがありますか? 先生や親、大人たちと、中高・大学生の若者たちが考える「いい子」は、全然違うかも。著者の実体験や調査データをもとに、日本の大人と若者の痛いところを突いてくる一冊です。

